

第16回 びんご多文化共生連続ワークショップ

日時：2022年7月23日(土) 13:00~16:00

場所：福山市立大学1階 小講義室C 定員：70人

参加費：無料（事前申込が必要です。） 申込締切：7月20日(水)

※新型コロナウイルス感染防止対策のため急遽オンライン（ZOOM）開催に切り替えるか、中止となる場合があります。申込者は、開催前日に申し込み時に登録したメールアドレスをご確認ください。

異文化ケアと地域コミュニティについて考える ～誰一人取り残さない地域の構築を目指して～

かねもとりんか
講師：金本林珂さん

〔講師プロフィール〕

広島キリスト教社会館・

デイサービスセンター「かりん」の介護職員



中国長春出身、2004年に来日、2020年9月から広島キリスト教社会館の運営するデイサービスセンター「かりん」の介護職員として勤務。

現在、中国語、日本語、朝鮮語を使ってケアを提供する。

あさくらみえ
講師：朝倉美江さん

〔講師プロフィール〕

金城学院大学人間科学部

コミュニティ福祉学科 教授



社会福祉、コミュニティワークの研究を

中心に、近年増加する外国籍住民への支援を地域福祉の視点から調査・研究を多く行う。とりわけ日系ブラジル人の生活問題と高齢化について、自治体とのネットワーク構築の提言を行う。近著に『多文化共生地域福祉への展望』（2017年）、『多文化福祉コミュニティ』（2020年）。

福山市の高齢の外国籍市民は、2012年の290人から2019年404人と増加し、国籍も多様化しています。そのため文化に合わせたケアが地域で必要になっています。一方で外国人介護労働者が日本人高齢者のケアをするケースも増加しており、ケアの現場では異文化ケアが進みつつあります。今回、講師の金本さんから、言語や文化に配慮した異文化ケア（ケアをする人が外国人、ケアを受ける人は日本人・外国人両方）の実情をお話していただきます。また、朝倉さんには、外国人住民を包摂する多文化福祉コミュニティの創造について、愛知県の事例をお話していただきます。最後に参加者の皆さんと一緒にコミュニティでケアを受ける人、ケアをする人たちの文化を考慮して、誰一人取り残さない地域の構築について話し合います。

■申込方法：右上のQRコードを読み取ると、申込みのページが表示されます。つぎのURLからでも、申込みのページにつながります。

<https://bit.ly/3sRNnLL>



共 催：びんご多文化共生研究会、
福山市立大学教育研究交流センター、
びんご日本語多言語サポートセンター「びるど」、
科学研究費「日系高齢マイノリティの『その人らしい暮らし』を
支援するための基礎研究」（基盤研究(C)18K02104）
後 援：中国新聞備後本社、エフエムふくやま

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

